

【報告】 第8次埼玉県地域保健医療計画（災害時医療）について

第8次埼玉県地域保健医療計画について

計画期間

令和6～令和11年度(2024～2029年度)

目指すべき姿
(災害時医療)

災害時における医療体制の構築を推進することにより、大規模災害の発生時に限られた医療資源を最大限活用し、発災後の時間経過に応じた必要な医療を提供できることを目指します。

第8次埼玉県地域保健医療計画について

指 標

災害時連携病院の指定数

現状値 **18病院** → 目標値 **40病院**
(令和4年度(2022年度)) (令和11年度(2029年度))

病院のBCP策定率

現状値 **39.2%** → 目標値 **65.0%**
(令和4年度(2022年度)) (令和11年度(2029年度))

課 題

1. 保健医療活動の総合調整を適切かつ円滑に実施できる体制の整備
2. 災害時においても継続して医療を提供できる災害に強い医療提供体制の整備
3. 災害時医療を担う人的資源の充実

課題解決に向けた主な取組

I 保健医療活動の総合調整を適切かつ円滑に実施できる体制の整備

- 災害医療コーディネーターや災害時小児周産期リエゾンなど、災害時医療のコーディネート機能を担う体制の整備
 - ・ 県災害医療コーディネーター: 医師**8名**(R6. 4. 1)
 - ・ 地域災害医療コーディネーター: 医師**64名**(R6. 4. 1)
 - ・ 県透析災害医療コーディネーター: 医師**2名**(R6. 4. 1)
 - ・ 災害時小児周産期リエゾン: 医師54名、看護師及び助産師26名の計**80名**を指定(R6. 4. 1)
- 多職種が参加する訓練の実施と関係機関の連携の強化
 - ・ R6. 6. 12 埼玉SMART情報伝達訓練
 - ・ R6. 7. 30 埼玉版FEMA図上訓練
 - ・ R6. 9. 28・29 大規模地震時医療活動訓練
 - ・ R7. 1. 22 大規模災害時対応図上訓練(予定)
 - ・ R7. 3. 1・2 関東ブロックDMAT訓練(予定) 等
- 保健所を中心とした地域コーディネート体制の充実
 - ・ 埼玉県災害医療コーディネーター研修
県や国の災害時医療体制等に関する講義、災害医療コーディネーター活動に関する講義、避難所のアセスメントを通じて必要な情報を分析する演習、本部の運営を疑似体験する演習を実施。
<R6の開催実績>
 - ・ 開催日 令和6年11月10日(日)
 - ・ 受講者数 17名
- 災害時における保健師を中心とする保健衛生活動体制の整備
 - ・ これまで発災直後の超急性期における訓練・研修が中心であったが、急性期～亜急性期における対応の強化も課題
⇒ **災害時の急性期～亜急性期**の保健医療活動を担う**保健所職員**を主な対象とした研修を検討



課題解決に向けた主な取組

2 災害時においても継続して医療を提供できる災害に強い医療提供体制の整備

- 災害用医薬品などの備蓄・供給体制の整備、薬剤師災害リーダーの養成
 - ・ 県内22か所に「緊急医薬品等医療セット」を、7か所に軽治療用医薬品を直接備蓄
 - ・ 医薬品卸業者7社11事業所へランニング備蓄の委託及び関係団体との協定締結により供給体制を整備
 - ・ 地域薬剤師災害リーダー：**94名**(R6.4.1)
 - ・ 引き続き適切な備蓄・供給体制の整備及び薬剤師災害リーダーの養成に取り組む
- 地域ごとの状況を踏まえた災害拠点病院(22病院)や災害時連携病院(21病院)の更なる整備
 - ・ 災害時連携病院の指定状況：**(R3)10病院** → **(R4)18病院** → **(R5)21病院** → **(R6)27病院(予定)**
 - ・ 令和8年度に35病院(県5か年計画)、令和11年度に40病院の指定に向けて引き続き整備に取り組む
- 災害時に精神科医療を提供できる体制の整備
 - ・ 災害時連携民間精神科病院の指定状況：**(R6)7病院**

➤ 病院の施設・設備整備に対する支援

補助金	概要
医療施設耐震整備事業補助金	医療施設の耐震整備に係る新築、増改築に伴う補強等に要する経費への補助
医療施設浸水対策事業補助金	医療用設備又は電源設備の移設や止水板等の設置に要する経費への補助
災害拠点病院施設整備事業補助金	災害拠点病院の建物補強や非常用自家発電設備等の整備に要する経費への補助
救命救急センター設備整備事業補助金	救命救急センターとして必要な病棟、診療棟等の部門の整備などに要する経費への補助

- 病院のBCP策定や見直し等に対する支援
 - ・ BCP策定率：**(R4)39.2%** → **(R5)58.9%**
 - ・ 令和6年8月8日、29日に「**病院BCP策定のためのワークショップ(体験型講座)**」を実施
 - ・ 令和11年度策定率65.0%に向けて引き続き支援を実施

課題解決に向けた主な取組

3 災害時医療を担う人的資源の充実

- DMAT、DPAT、災害支援ナース等の養成等に対する研修の実施及び支援

【埼玉DMATの養成研修(参加者数)】

◆ 日本DMAT隊員養成研修(4日間)

(厚生労働省が実施、県がとりまとめ)

R 3	R 4	R 5	R 6
中止	5人	16人	16人予定

◆ 埼玉DMAT養成研修(2日間)

R 3	R 4	R 5	R 6
—	—	—	30人予定

◆ 埼玉DMAT養成研修(0.5日間)

R 3	R 4	R 5	R 6
29人	19人	17人	30人予定

◆ 埼玉地域DMAT養成研修(2日間)

R 3	R 4	R 5	R 6
20人	39人	21人	49人

◆ 埼玉地域DMAT技能維持研修(1日間)

R 3	R 4	R 5	R 6
—	—	—	26人

【災害支援ナースの養成】

- ◆ 災害支援ナース養成研修の実施
・主催:(公社)埼玉県看護協会

【DPATの養成】

- ◆ 埼玉DPAT研修の実施
・主催:埼玉県
・災害ロジスティクス演習及び大規模災害机上訓練の実施

- 今後、急性期だけでなく、**亜急性期**の保健医療活動を担う人材の育成を検討していく。